弥生が丘6丁目防災マップ

緊急連絡先

三田市災害対策本部（市役所）
TEL 563-1111
消防署（火災・救急）
TEL 119

避難所一覧

市指定避難所		避難情報が発令されると開設されます。
弥生小学校	TEL.562-5175	災害により被害を受け、又は受けるおそれのある者を受入し、生活の救済を図り一定期間滞在する応急生活の場所です。
富士中学校	TEL.563-1111	

弥生が丘自治会防災拠点		
弥生が丘コミュニティーセンター	TEL.562-0434	自治会が市指定避難所と連携して情報収集・伝達機能を担う拠点です。

広域避難場所		大規模な災害発生時に開設されます。
深田公園		災害が人命に著しく大きな被害を及ぼすと予測される場合（主に地震災害時の延焼）に備えた、大規模な避難場所です。

各戸インターホンにある『非常』ボタン
管理棟と直通通話可

無事カード

伝言

無事カードの活用について

- 地震等の大災害の際、家族や近所の方が安否を確認するものです。
- 無事であれば玄関や門扉等の目立つ場所に吊り下げて下さい。
- カードが出ていない場合は、被災しているものと判断し、救助活動を実施します。
- 伝言欄は家族への避難先などの連絡にご使用下さい。（油性マジックで）
- カード保管は、玄関内の容易に出せる場所にマジックとセットで保管して下さい。

災害用伝言ダイヤル

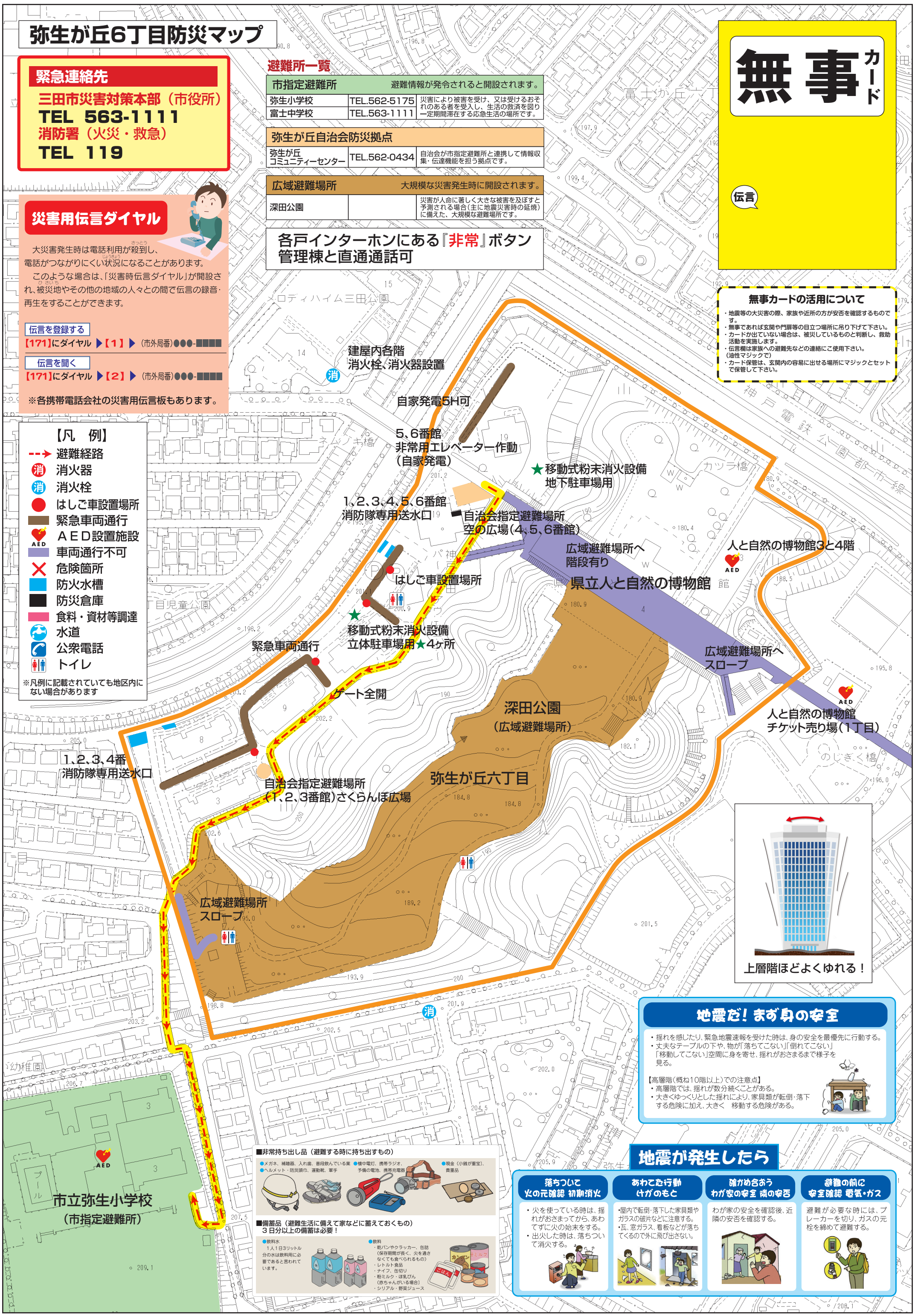
大災害発生時は電話利用が殺到し、電話がつながりにくい状況になることがあります。

このような場合は、「災害時伝言ダイヤル」が開設され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

伝言を登録する
【171】にダイヤル ▶【1】▶（市外局番）●●●-■■■■

伝言を聞く
【171】にダイヤル ▶【2】▶（市外局番）●●●-■■■■

※各携帯電話会社の災害用伝言板もあります。



地震だ！まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（概ね10階以上）での注意点】
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく　移動する危険がある。

地震が発生したら

落ちついて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。

あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

■非常持ち出し品（避難する時に持ち出すもの）

- ●メガネ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬
- ●ヘルメット・防災頭巾、運動靴、軍手
- ●懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、携帯充電器
- ●現金（小銭が重宝）、貴重品

■備蓄品（避難生活に備えて家などに蓄えておくもの）
３日分以上の備蓄は必要！

●飲料水
1人1日3リットル分の水は飲料用に必要であると言われています。

●飲料
- 乾パンやクラッカー、缶詰（保存期間が長く、火を通さなくても食べられるもの）
- レトルト食品
- ナイフ、缶切り
- 粉ミルク・ほ乳びん（赤ちゃんがいる場合）
- シリアル・野菜ジュース